

「東アジア文化都市 2014 横浜」の進捗状況について



1 開催概要

「東アジア文化都市」事業は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日中韓3か国の開催都市において、現代の芸術文化や伝統文化、多彩な生活文化等に関連する文化芸術イベントを実施するナショナルプロジェクトです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアにおける多様な文化の国際発信力を高めていくことを目的としています。

(1) 事業名：東アジア文化都市 2014 横浜

(2) 開催期間：平成 26 年 2 月～12 月

(3) 会場：横浜市内各所

(4) これまでの経緯：

平成 24 年 5 月 第 4 回日中韓文化大臣会合（中国 上海市）

…平成 26 年からの本事業の開始を 3 か国で決定

平成 25 年 2 月 文化庁が国内開催都市を公募（3 月に本市が応募）

平成 25 年 5 月 文化庁により本市が「国内候補都市」とされる

平成 25 年 9 月 第 5 回日中韓文化大臣会合（韓国 光州広域市）

…中国：泉州市、韓国：光州広域市とともに初代開催都市として
正式決定

平成 25 年 10 月 「2014 年東アジア文化都市実行委員会」発足

平成 26 年 1 月 「3 都市実務者会議」開催（横浜）

平成 26 年 2 月 泉州市オープニング（2/13）

横浜市オープニング（2/25 式典・コンサート）

平成 26 年 3 月 光州広域市オープニング（3/18）

2 実施事業

「横浜から共に創る新しい力～コラボレーションがイノベーションを興す～」をコンセプトに、開港以来横浜が培ってきた創造性を発揮しながら、次の 19 事業を中心に進めます。さらに中国：泉州市、韓国：光州広域市によって開催される事業とも連携していきます。

(1) 日中韓芸術祭

日中韓文化大臣会合において開催が決定された事業で、文化庁と横浜市が共に主催となり横浜で実施します。日中韓3か国のダンスプログラムの競演であり、3か国の注目のダンサーや演奏家が出演し、一つの舞台で共に踊ります。

ア 開催予定日

9月4日(木)

イ 会場

K A A T 神奈川芸術劇場

ウ 料金

無料(観覧者を一般公募予定)

(2) 特別事業

ヨコハマトリエンナーレ 2014

(3) 実行委員会主催・共催事業(17事業)

ア 横浜ならではの魅力や文化的資産を生かした事業

イ 中国・韓国を始めとする東アジア諸国や国内他都市との交流・協働事業

ウ 相互の文化に親しみ賑わいを創出する事業

※詳細については、別添資料をご参照ください。

※今後新たな事業の実施を決定した場合は、随時お知らせします。

3 今後のスケジュール

9月～10月：コア期間として多くの文化芸術イベントを集中的に実施

11月または12月：クロージング式典・イベント

<事業紹介>

■横浜ならではの魅力や文化的資産を生かした事業（7事業）

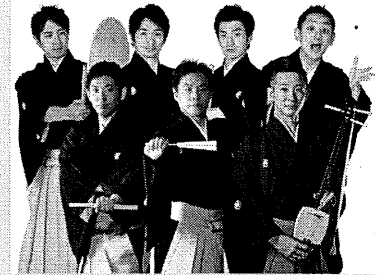
新七夕伝説「星ノ舟」～新しき伝統芸能のカタチ～

中国、韓国、そして日本と三国にまたがる様々な『七夕伝説』によるオリジナルストーリー。

日本舞踊、和太鼓、笛、胡弓、唸のコラボレーションで綴る一夜限りのスペシャルパフォーマンス。

【開催日】7月4日（金）

【会場】横浜能楽堂



仮想のコミュニティ アジア—黄金町バザール 2014

「仮想のコミュニティ・アジア」をテーマに、日本国内、中国、韓国を中心にアジア諸地域よりアーティストを招き、滞在制作と展覧会を初黄・日ノ出町エリアの街中に展開します。同時に、会期中は各国のアート関係者を招いた国際シンポジウムを開催します。

【開催日】8月1日（金）～11月3日（月・祝）

【会場】黄金町京急高架下ほか

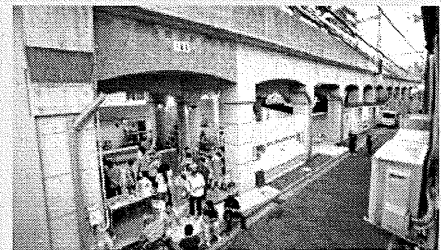


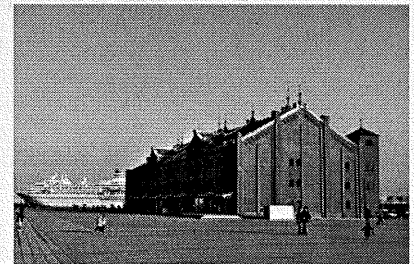
Photo: Yasuyuki Kasagi

アジア ユース・バレエ・ウィーク横浜

ダンスを通して、相互理解と絆を深める国際交流事業。北京、上海、ソウル及び国内のバレエ学校から、ジュニア、コーチ、校長とプロダンサーを招聘します。横浜文化賞を受賞した中村恩恵（なかむらめぐみ/ダンサー・振付家）がディレクターを務め、一般に公開するマスタークラスやワークショップ、作品上演とともにシンポジウムを開催します。

【開催日】8月20日（水）～8月26日（火）

【会場】赤レンガ倉庫1号館3階ホール



スマートイルミネーション横浜 2014

省エネルギー技術とアートの創造性を融合したアートイベント。今年は中国、韓国からもアーティストを招聘し、レジデンスにて作品を制作。

【開催日】10月30日（木）～11月3日（月・祝）

【会場】象の鼻テラス他、横浜都心臨海部

さらに、鶴見区や金沢区、緑区でも展開（日程未定）



スマートイルミネーション横浜 2013 撮影：アマノスタジオ

日中韓伝統人形劇

日・中・韓を代表する伝統人形劇。日本からは、「人形浄瑠璃 文楽」、中国からは福建省の糸操り人形劇。いずれもユネスコの「世界無形遺産」です。韓国からは、足に仮面を付け演じる「パルタル」が出演。三者三様の技法を楽しむことができます。

【開催日】10月25日（土）

【会場】横浜にぎわい座



「歩行と移動」

急な坂スタジオのサポートアーティストである「マームとジブシー」が、横浜の街をモチーフにした映像作品を制作し、市内複数個所に展示します。

異なる複数の作品を点在させることで、お客様自身が作品を探し、出逢いにゆく、回遊式の鑑賞体験を提供します。

【開催日】9月中旬～11月3日（月・祝）

【会場】曹洞宗大本山 総持寺、他市内複数か所



日・中・韓“書”の交流 第27回神奈川書家三十人展

神奈川を代表する書家の新作が流派・ジャンルを超えて展示される「神奈川書家三十人展」。今年は、中国・韓国の書家の新作も招待展示し、書文化の多様な魅力を存分に紹介します。

【開催日】10月31日（金）～11月5日（水）（6日間）

【会場】曹洞宗大本山 総持寺



■中国・韓国を始めとする東アジア諸国や国内他都市との交流・協働事業 (7事業)

日中韓学生アニメーション国際共同制作

東京藝術大学、韓国芸術総合学校、中国伝媒大学の3校のアニメーションの国際共同制作を横浜で実施。中国、韓国の学生及び教員を横浜に招待し、10日間缶詰になって短いアニメーションを制作・発表します。合わせて市民向け上映会、シンポジウムなどを開催します。

【開催日】6月から準備、8月の10日間

【会場】東京藝術大学校舎等



日・中・韓交流オペラ「春香」

朝鮮半島に300年来伝わる古典文学「春香」について、横浜にゆかりのある作曲家高木東六が1947年にオペラ化した作品の改訂版を再演します。

(2002年にも上演実績あり)

演奏は神奈川フィルハーモニー管弦楽団。また、合唱は横浜シティオペラを中心とした市民参加型の合唱団による。

【開催日】7月2日(水)

【会場】みなとみらいホール



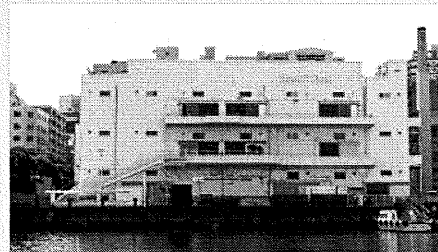
東アジアの夢～続・朝鮮通信使の新たな展開

東アジアのアーティスト・クリエイター約100人による文化使節チームが中国から韓国に入り、日本(横浜)までめぐるツアー。日本では、約1か月半のアーティスト・イン・レジデンスを経て、参加作家20名程度の展覧会をBankART Studio NYKで開催します。

【開催日】展覧会はトリエンナーレ期間

(8月1日～11月3日)と同時開催

【会場】BankART Studio NYK



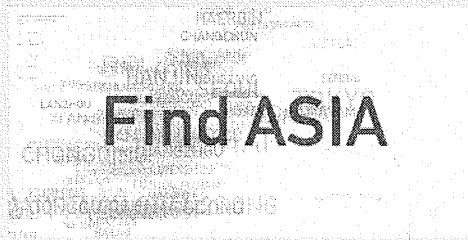
©Bankart1929

Find Asia

東アジアのアーティストとコラボレーションしながら、作品展示を行うとともにインフォメーション機能を持つコミュニティーカフェを設置し、アートを通して人々の出会いや交流を促すアートプロジェクトです。

【開催日】8月1日(金)～11月3日(月・祝)

【会場】ヨコハマ創造都市センター



ヨコハマ・パトリエナーレ 2014

“障害者”と“多様な分野のプロフェッショナル”の協働から生まれる現代アートの国際展。人々の出会いと協働の機会を創出し、誰もが居場所と役割を実感する地域社会の実現を目指します。

【開催日】8月1日（金）～11月3日（月・祝）

【会場】象の鼻テラス、象の鼻パーク

Yokohama

Paratriennale

ヨコハマ・パトリエナーレ 2014

日韓中テレビ制作者フォーラム

日本、韓国、中国のテレビ番組制作者が、共通したテーマに基づいて制作された各国の番組を視聴、討論し、国家という枠組みを超えて共通認識と理解を得て、その成果を広く視聴者に届け、アジアの放送文化の向上を図ります。今回は、横浜東アジア文化都市に関するテーマ「出会い～都市、文化、そして人間」を設定するとともに、視聴・討論の様態を広く一般市民にも公開します。

【開催日】9月15日（火・祝）～18日（木）

【会場】横浜シンポジア ホール



藝大アーツ学生サミット 2014「横浜アート物語」

横浜市・泉州市・光州広域市を中心にした、日中韓3カ国3分野（美術・音楽・映像）の大学生・若手研究者による共同制作プロジェクト。5日間を共に横浜で過ごし、異文化交流を積み重ねながら作りあげた美術・映像作品や演奏を発表します。

【開催日】9月26日（金）～30日（火）

【会場】東京藝術大学馬車道校舎ほか

■相互の文化に親しみ賑わいを創出する事業（3事業）

ヨコハマ砂の彫刻展

日・中・韓の重要な文化遺産・歴史遺産を精密な描写の可能な「砂の彫刻」によって表現。芸術プロデューサーは砂像彫刻家の茶園勝彦氏で、鳥取県「砂の美術館」の総合プロデューサー。砂像製作のワークショップも実施し、子どもにも楽しめる内容になっています。

【開催日】 7月19日（土）～11月3日（月・祝）

【会場】 中区本町6丁目（北仲通南地区）



食とアートでつながる日中韓～東アジア

「食」と「アート」を通じて東アジア地域の「共通項」と「多様性」の認知を促進することを目的とする、日中韓各国のフード・ドリンク・お茶・デザートなどが楽しめる多国籍カフェ。各国の文化や音楽の紹介、ミニイベント等を随時開催し、事業の情報発信基地としても活用します。

【開催日】 コア期間を含め、3か月程度

【会場】 横浜中華街の店舗

日・中・韓絃の響き

日本、中国、韓国、それぞれの地で独自の発展を遂げた伝統楽器“箏”。似ているようで異なる3種類の楽器を見て、聴いて、体感できるコンサートです。前日開催のプレ・レクチャーや、当日ロビーでの楽器展示、日中韓のお茶のサービスもあります。

【開催日】 9月7日（日）

【会場】 青葉区民文化センター フィリアホール



本事業の箏奏者兼ナビゲーターの片岡リサ氏